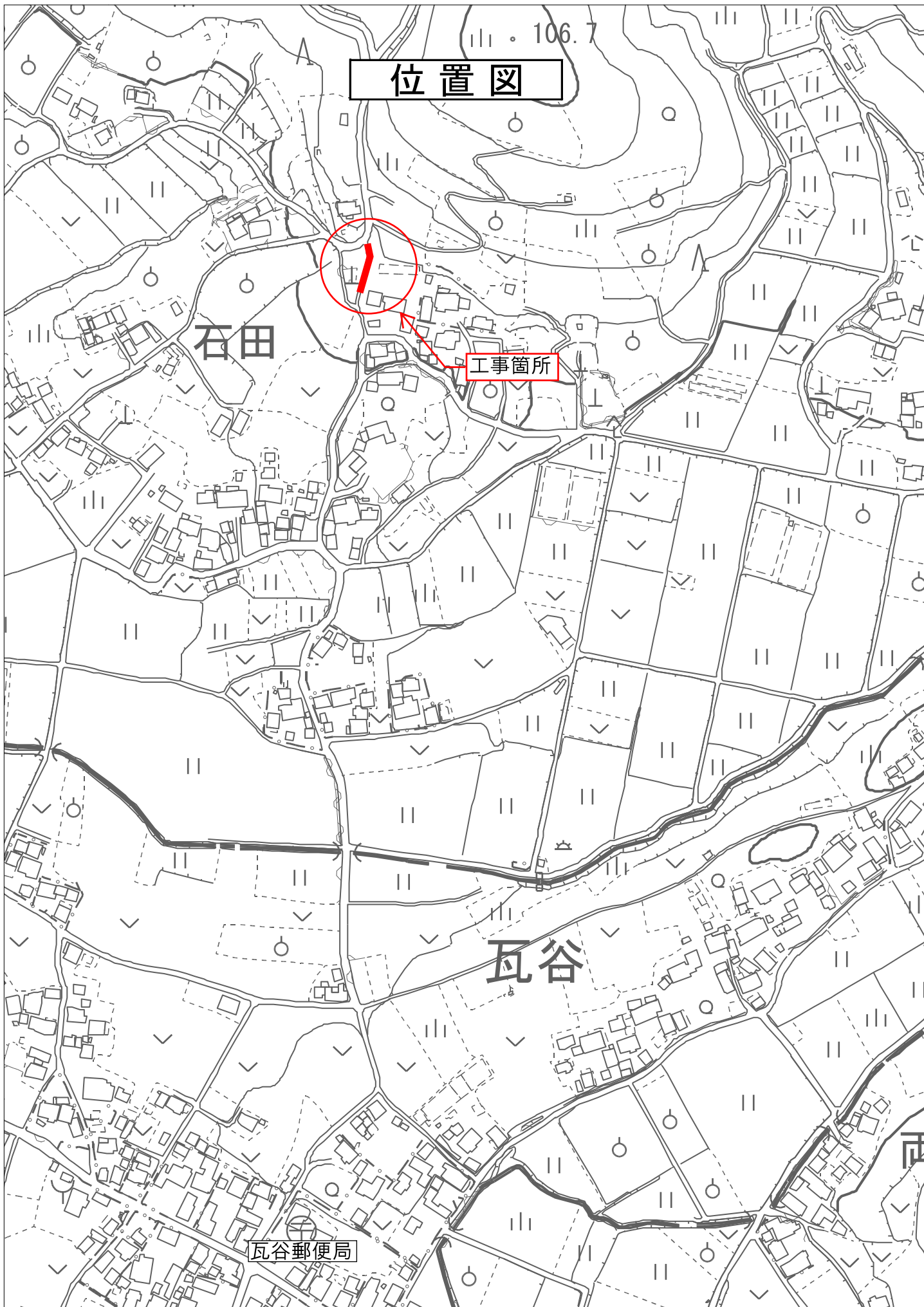




位置図



石田

工事箇所

瓦谷

瓦谷郵便局

R2単・市道B5212号線 排水整備工事

## 特記仕様書

### (総則)

- 第1条 本特記仕様書は、R2単・市道B5212号線排水整備工事に適用する。
- 2 本特記仕様書は、茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書(以下、「共通仕様書」という。)を補完する。

### (工期)

- 第2条 工期は、雨天や休日等を見込み、契約締結日の翌日から90日間とする。
- なお、休日等には日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季期休暇を含んでいる。

### (工事数量)

- 第3条 工事数量は、別紙「工事数量総括(内訳)表」のとおりとする。

### (工程関係)

- 第4条 全工種の作業時間帯は、下表のとおりとすること。なお、作業時間帯の変更を要する場合には、速やかに監督員と協議すること。

工種	作業時間帯	期間
全工種	作業開始 9時00分 作業終了 17時00分	契約締結日の翌日から 90日間

### (建設資材)

- 第5条 使用する資材のうち、下表の工種には、茨城県リサイクル建設資材を使用すること。なお、指定されたリサイクル建設資材の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。

工種	リサイクル建設資材	規格
基礎砕石	再生クッシャーラン	RB-40
路盤工	再生クッシャーラン	RC-40
表層工	再生粗粒As (20)	

### (建設機械)

- 第6条 使用機械のうち、バックホウ、ブルドーザー、モータグレーダ、ロードローラ、タイヤローラについては、排出ガス対策型の第1次基準値以上(ただし、バックホウ山積0.8m<sup>3</sup>並びにASフィニッシャーについては、第2次基準値のもの)を使用すること
- 2 排出ガス対策型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、排出ガス対策型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

- 第7条 使用機械のうち、バックホウ等については、低騒音(低振動)型建設機械を使用すること。

- 2 低騒音(低振動)型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、低騒音(低振動)型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

### (過積載の防止)

- 第8条 本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。

- (1)積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- (2)過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- (3)資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等に当たっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (4)さし枠装着車、物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。また、これらの車両を工事現場に出入りさせないこと。
- (5)過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長するような行為をしないこと。
- (6)取引関係のあるダンプカー事業者が不正行為(過積載、さし枠装着車や不正表示車等の使用)を行っている場合には、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (7)「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (8)下請契約の相手方や資材納入業者の選定にあたっては、交通安全に対する配慮に欠ける者やダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

(交通誘導員の配置)

第9条 工事の施工にあたっては、交通誘導員1名を配置し、一般交通等に支障のないよう十分注意して施工すること。なお、交通誘導員は警備業者の交通誘導業務に従事する警備員とする。配置箇所等については、道路工事実施協議書どおりの配置により難しい場合には、監督員と協議すること。

(建設副産物実態調査)

第10条 建設副産物実態調査(センサス)の対象となる建設副産物の品目については、「建設リサイクルデータ統合システム(COBRIS)」によりデータを作成後、出力した調査票1部を監督員に提出すること。なお、出力した調査票は、茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書第1編第1章総則1-1-18建設副産物第7項に基づく再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の提出に代わるものとする。

(建設リサイクル法に係る積算条件明示)

第11条 本工事は建設リサイクル法の対象工事である。本工事における分別解体・再資源化等については、下記の積算条件を設定している。なお、この条件は、契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであり、確認した内容が別の方法となった場合でも、契約変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情や、請負者の責によるものでない事項により、予定した条件によりがたい場合には、監督員と協議するものとする。

(1)分別解体等の方法

工程ごとの作業	工程	作業内容	分別解体等の方法(※1)
	①仮設	仮設工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②土工	土工 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事	□手作業

内容及び解体方法		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 ( )	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

※1 該当がない場合は記載の必要はない。

(2)再資源化をする施設の名称及び所在地(※2)

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地
コンクリート塊	日東エンジニアリング	茨城県土浦市沢辺1544-1

※2 積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。

(3)制約条件(搬入条件、仮置き条件等)

(再資源化等報告書)

第12条 分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、監督員の指示する様式を作成し、監督員に報告すること。

(不正軽油の使用防止)

第13条 本工事の施工にあたっては、下記の事項を遵守すること。

- (1)現場で不正軽油を使用しないこと。
- (2)現場で不正軽油を使用させないこと。
- (3)不正軽油を購入しないこと。
- (4)取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講じること。
- (5)下請契約の相手方、または燃料納入業者を選定するにあたっては、不正軽油を使用する者、または不正軽油を販売する者を排除すること。
- (6)県税事務所職員による使用燃料の抜き取り調査に協力すること。また、調査の際には、現場代理人が立ち会うこと。
- (7)当該工事に関して、法令(地方税法等)に違反していることが判明した場合は、直ちに監督員に報告すること。

(労働安全衛生法等の遵守)

第14条 請負人は、共通仕様書1-1-34に基づき、労働安全衛生法等関係法令を遵守し、特に次の事項に留意すること。

- (1)受注者は、高所作業における作業床、囲い、二段手すり、幅木、防網の設置、作業員の安全帯の使用、悪天候時の作業禁止、照度の保持、踏み抜きの防止、不用のたて杭等における危険の防止、昇降設備の設置、墜落危険箇所の立入禁止等により、墜落・転落災害の防止措置を講じること。
- (2)受注者は、建設機械による作業に先立ち、当該建設機械の転落、地山の崩壊等による作業員の危険を防止するため、地形や地質の状況等を調査し、作業計画を定めてから作業を行うこと。また、作業中は、機械の制限速度、転落・接触等の防止、誘導者の合図、運転者が運転位置から離れるときの措置、機械の移送、搭乗・使用の制限、修理等について、関係法令を遵守すること。
- (3)受注者は、地山の掘削作業に先立ち、地山の崩壊や埋設物の損壊等により危険を及ぼすおそれのあるときは、作業箇所及び周辺の地山について調査し、掘削の

時期及び順序を定めて作業を行うこと。また、土砂崩壊災害の防止等のため、手掘り掘削における掘削面の勾配や土止め支保工、防護網の設置、作業員の立入禁止、埋設物等による危険の防止、掘削機械等の使用制限、誘導者の配置、保護帽の着用、照度の保持等について、関係法令を遵守すること。

- (4) 受注者は、建設機械の操作や玉掛け作業を、法令で定める免許を有する者、または技能講習や特別教育修了者に行わせること。
  - (5) 受注者は、掘削面の高さが2m以上となる地山の掘削作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を終了した者のうちから、地山の掘削作業主任者を選任しなければならない。
  - (6) 受注者は、土止め支保工の切り梁、腹起こしの取り付け、取り外し作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を修了した者のうちから、土止め支保工作業主任者を選任しなければならない。
- 2 受注者は、監督員より作業員の免許等の提示を求められたときは、協力すること。

(疑義)

第15条 本工事の施工及び設計図書等に疑義が生じた場合には、監督員と協議のうえ、その指示に従うこと。

# 工事数量総括（内訳）表

第 02-01-002-1-020 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
道路改良			1	式		
排水構造物工			1	式		
作業土工			1	式		床掘り 20.000 m3 埋戻し 7.000 m3 土砂等運搬 10.000 m3
側溝工			1	式		フレキストU型側溝 48.000 m 側溝蓋 48.000 枚
構造物撤去工			1	式		
構造物取壊し工			1	式		舗装版切断 48.000 m 舗装版破碎 35.000 m2
運搬処理工			1	式		殻運搬 4.000 m3 殻処分 4.000 m3
仮設工			1	式		
交通管理工			1	式		交通誘導警備員 4.000 人日
舗装			1	式		
舗装工			1	式		
アスファルト舗装工			1	式		表層(仮復旧) 24.000 m2 路盤工(仮復旧) 24.000 m2
直接工事費計			1	式		
共通仮設			1	式		
共通仮設費			1	式		
準備費			1	式		支障木伐採 1.000 式
共通仮設費（率計上）			1	式		

# 工事数量総括（内訳）表

第 02-01-002-1-020 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
共通仮設費計						
			1	式		
純工事費						
			1	式		
現場管理費						
			1	式		
工事原価						
			1	式		
一般管理費等						
			1	式		
工事価格						
			1	式		
消費税相当額						
			1	式		
請負工事費						
			1	式		



# 本工事費内訳書

第 02-01-002-1-020 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
道路改良					
排水構造物工					
作業土工					
床掘り	20.000	m3			
床掘り 土質(土砂),施工方法(上記以外(小規模)),費用の内訳(全ての費用)	20.000	m3			施工P 第0001号代価表
埋戻し	7.000	m3			
埋戻し 施工方法(上記以外(小規模)),土質(土砂),費用の内訳(全ての費用)	7.000	m3			施工P 第0002号代価表
土砂等運搬	10.000	m3			
土砂等運搬 土砂等発生現場(小規模),積込機種・規格(ハックホ山積0.28m3(平積0.2m3)),土質(土砂(岩塊・玉石混り土含む)),DID区間の有無(無し),運搬距離(km)(DID区間無)(10.0km以下)	10.000	m3			施工P 第0003号代価表
側溝工					
プレキャストU型側溝	48.000	m			
長尺U字溝(歩道用)[土木工事標準単価] 作業区分(据付),U字側溝種類(KUS300*300),夜間作業の有無(無),時間的制約の有無(無し),施工箇所による補正(無),基礎砕石施工の有無(有),基礎砕石の種類(再生クラッシャー RB-40),基礎砕石設計数量(0.5 m3/10 m)	48.000	m			第0004号代価表
側溝蓋	48.000	枚			

# 本工事費内訳書

第 02-01-002-1-020 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
コンクリート側溝蓋(歩道用)(県規格)[ 土木工事標準単価] 作業区分(据付), 蓋版の種類(ISL-300), 夜 間作業の有無(無), 時間的制約の有無(無し ) , 施工箇所による補正(無)	46.000	枚			第0005号代価表
鋼鉄製蓋布設(長尺U字溝)(T14)[ 土木工事標準単価] 作業区分(据付), 蓋版の種類(T-14 300用), 夜間作業の有無(無), 時間的制約の有無(無し ) , 施工箇所による補正(無)	2.000	枚			第0006号代価表
構造物撤去工					
構造物取壊し工					
舗装版切断	48.000	m			
舗装版切断 舗装版種別(コンクリート舗装版), コンクリート舗装版 厚(15cm以下), 費用の内訳(全ての費用)	48.000	m			施工P 第0007号代価表
舗装版破碎	35.000	m2			
舗装版破碎 舗装版種別(コンクリート舗装版), 障害等の有無( 無し), 騒音振動対策(不要), 舗装版厚(15cm 以下), 積込作業の有無(有り), 費用の内訳( 全ての費用)	35.000	m2			施工P 第0008号代価表
運搬処理工					
殻運搬	4.000	m3			
殻運搬 殻発生作業(舗装版破碎), 積込工法区分(機 械積込(小規模土工)), DID区間の有無(無し ) , 運搬距離(km) (DID区間無)(28.5km 以下), 費用の内訳(全ての費用)	4.000	m3			施工P 第0009号代価表
殻処分	4.000	m3			
コンクリート廃材処理費(中間処 理施設) コンクリート塊(無筋) 30cm以下	8.000	t			

# 本工事費内訳書

第 02-01-002-1-020 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員	4.000	人日			
交通誘導警備員B	4.000	人日			第0010号代価表
舗装					
舗装工					
アスファルト舗装工					
表層(仮復旧)	24.000	m2			
表層(仮復旧) 平均幅員(1.4m未満(仕上厚50mm以下)),1 層当平均仕上厚 50mm以下(30 mm),材料(粗 粒度アスファルト混合物(20)),瀝青材料種類( 無し),費用の内訳(全ての費用)	24.000	m2			施工P 第0011号代価表
路盤工(仮復旧)	24.000	m2			
路盤工(仮復旧) 全仕上り厚(実数入力)(100 mm),施工区 分(1層施工),材料(再生クラッシュ RC-40),費 用の内訳(全ての費用)	24.000	m2			施工P 第0012号代価表
直接工事費計					
共通仮設					
共通仮設費					
準備費					
支障木伐採	1.000	式			

# 本工事費内訳書

第 02-01-002-1-020 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
支障木伐採	1.000	式			第0013号代価表
共通仮設費 (率計上)					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費等					
工事価格					
消費税相当額					
請負工事費					

第 0001 号 代価表 床掘り

施工P(機23.22%, 労69.53%, 材7.25%, 市0.00%)

第02-01-002-1-020号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ(クローラ) [後方超小旋回型] 排ガス型(第2次) 山積0.28m3	23.220	%			K1
運転手(特殊)	37.610	%			R1
普通作業員	31.920	%			R2
軽油 1.2号	7.250	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 土質	1	土砂
J02 施工方法	5	上記以外(小規模)
J05 費用の内訳	1	全ての費用

第 0002 号 代価表 埋戻し

施工P(機11.23%, 労84.85%, 材3.92%, 市0.00%)

第02-01-002-1-020号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ（クローラ） [後方超小旋回型] 排ガス型（第2次） 山積0.28m <sup>3</sup>	10.540	%			K1
ランマ 質量60～80kg	0.690	%			K2
普通作業員	48.460	%			R1
特殊作業員	19.320	%			R2
運転手（特殊）	17.070	%			R3
軽油 1.2号	3.290	%			Z1
ガソリン レギュラー	0.630	%			Z2
			(標準単価 積算単価		)

J01	条件名称 施工方法	入力値 5	入力名称 上記以外（小規模）
J02	土質	1	土砂
J04	費用の内訳	1	全ての費用

第 0003 号 代価表 土砂等運搬

施工P(機27.16%, 労60.81%, 材12.03%, 市0.00%)

第02-01-002-1-020号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級	27.160	%			K1
運転手 (一般)	60.810	%			R1
軽油 1. 2号	12.030	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 土砂等発生現場	2	小規模
J 0 2 積込機種・規格	5	バックホウ山積0.28m3 (平積0.2m3)
J 0 3 土質	1	土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
J 0 4 DID区間の有無	1	無し
J 1 3 運搬距離 (km) (DID区間無)	10	10.0km以下

第 0004 号 代価表 長尺U字溝(歩道用)[土木工事標準単価]

第 0 2 - 0 1 - 0 0 2 - 1 - 0 2 0 号

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
U型側溝 昼間 L 2 0 0 0 1 0 0 0 k g 以下 制約無	10.000	m			
長尺U字溝 歩道用 KUS-300×300	5.000	本			
再生クラッシャーラン RB-40	0.600	m <sup>3</sup>			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 作業区分	1	据付
J 0 2 U字側溝種類	1	KUS300*300
J 0 3 夜間作業の有無	2	無
J 0 4 時間的制約の有無	1	無し
J 0 5 施工箇所による補正	1	無
J 0 6 基礎砕石施工の有無	1	有
J 0 7 基礎砕石の種類	4	再生クラッシャーラン RB-40
J 0 8 基礎砕石設計数量	0.5	0.5 m <sup>3</sup> /10m



第 0005 号 代価表 コンクリート側溝蓋(歩道用)(県規格)[土木工事標準単価]

第 0 2 - 0 1 - 0 0 2 - 1 - 0 2 0 号

100.000

枚 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製 昼間 170kg以下 制約無	100.000	枚			
現場打側溝用および長尺U字溝用蓋 歩道用 ISL-300	100.000	枚			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 作業区分	1	据付
J 0 2 蓋版の種類	6	ISL-300
J 0 3 夜間作業の有無	2	無
J 0 4 時間的制約の有無	1	無し
J 0 5 施工箇所による補正	1	無

第 0006 号 代価表 鋼鉄製蓋布設(長尺U字溝)(T14)[土木工事標準単価]

第 0 2 - 0 1 - 0 0 2 - 1 - 0 2 0 号

100.000

枚 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製 昼間 40kg以下 制約無	100.000	枚			
鋼鉄製側溝蓋(長尺U字溝用) T-14 300用	100.000	枚			
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 作業区分	1	据付
J 0 2 蓋版の種類	1	T-14 300用
J 0 3 夜間作業の有無	2	無
J 0 4 時間的制約の有無	1	無し
J 0 5 施工箇所による補正	1	無

第 0007 号 代価表 舗装版切断

施工P(機5.15%, 労42.82%, 材52.03%, 市0.00%)

第02-01-002-1-020号

1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20cm級	3.480	%			K1
特殊作業員	14.800	%			R1
世話役	7.700	%			R2
普通作業員	6.430	%			R3
コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ	49.740	%			Z1
ガソリン レギュラー	1.550	%			Z2
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	2	コンクリート舗装版
J03 コンクリート舗装版厚	1	15cm以下
J05 費用の内訳	1	全ての費用

第 0008 号 代価表 舗装版破碎

施工P(機10.10%, 労81.87%, 材8.03%, 市0.00%)

第02-01-002-1-020号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	10.100	%			K1
世話役	29.500	%			R1
運転手 (特殊)	27.770	%			R2
普通作業員	24.600	%			R3
軽油 1.2号	8.030	%			Z1
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	2	コンクリート舗装版
J02 障害等の有無	1	無し
J03 騒音振動対策	1	不要
J04 舗装版厚	4	15cm以下
J06 積込作業の有無	1	有り
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第 0009 号 代価表 殻運搬

施工P(機20.75%, 労69.90%, 材9.35%, 市0.00%)

第02-01-002-1-020号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2 t 積級	20.750	%			K1
運転手 (一般)	69.900	%			R1
軽油 1. 2号	9.350	%			Z1
			(標準単価 積算単価	)	

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 殻発生作業	2	舗装版破碎
J 0 2 積込工法区分	5	機械積込 (小規模土工)
J 0 3 DID区間の有無	1	無し
J 1 2 運搬距離 (km) (DID区間無)	13	28.5km以下
J 1 6 費用の内訳	1	全ての費用



第 0011 号 代価表 表層(歩道部)

施工P(機0.55%, 労48.92%, 材50.53%, 市0.00%)

第02-01-002-1-020号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6t	0.420	%			K1
振動コンパクタ [前進型] 機械質量40~60kg	0.100	%			K2
特殊作業員	21.450	%			R1
普通作業員	18.680	%			R2
世話役	5.590	%			R3
アスファルト混合物 粗粒度AS混合物(20)	50.400	%			Z1
ガソリン レギュラー	0.080	%			Z2
軽油 1.2号	0.050	%			Z3
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均幅員	1	1.4m未満 (仕上厚50mm以下)
J02 1層当平均仕上厚 50mm以下	30	30 mm
J05 材料	9	粗粒度アスファルト混合物(20)
J06 瀝青材料種類	5	無し
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第 0012 号 代価表 下層路盤(歩道部)

施工P(機6.39%, 労69.63%, 材23.98%, 市0.00%)

第 0 2 - 0 1 - 0 0 2 - 1 - 0 2 0 号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.11m <sup>3</sup> (平積0.08m <sup>3</sup> )	3.310	%			K1
振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	2.900	%			K2
普通作業員	29.260	%			R1
運転手(特殊)	24.600	%			R2
特殊作業員	13.750	%			R3
再生クラッシャーラン RC-40	22.040	%			Z1
軽油 1.2号	1.890	%			Z2
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 全仕上り厚(実数入力)	100	100 mm
J 0 2 施工区分	1	1層施工
J 0 3 材料	6	再生クラッシャーラン RC-40
J 0 4 費用の内訳	1	全ての費用









# 作業土工面積計算書

測 点	距 離(m)	床掘			埋戻			摘 要
		断面積 (m <sup>2</sup> )	平均面積(m <sup>2</sup> )	体積(m <sup>3</sup> )	断面積 (m <sup>2</sup> )	平均面積(m <sup>2</sup> )	体積(m <sup>3</sup> )	
BP	—					—	—	
No1								
No1+10.0		0.37			0.11			
No2	10.000	0.43	0.40	4.0	0.12	0.12	1.2	
No3	20.000	0.45	0.44	8.8	0.16	0.14	2.8	
EP	18.000	0.43	0.44	7.9	0.14	0.15	2.7	
小 計	48.000			20.7			6.7	
合 計	48.000			20.7			6.7	







# Co舗装版破碎面積計算書

測 点	距 離(m)	Co舗装版破碎 t =10cm			幅員 (m)	平均幅員(m)	面積(m <sup>2</sup> )	摘 要
		幅員 (m)	平均幅員(m)	面積(m <sup>2</sup> )				
BP	—							
No1								
No1+10.0		0.7						
No2	10.000	0.6	0.65	6.5				
No3	20.000	0.8	0.70	14.0				
EP	18.000	0.8	0.80	14.4				
小 計	48.000			34.9				
合 計	48.000			34.9				





# 舗装工面積計算書

測 点	距 離(m)	路盤工 RC-40 t = 10cm			表層工 (仮復旧) 再生粗粒As t = 3cm			摘 要
		幅員 (m)	平均幅員(m)	面積(m <sup>2</sup> )	幅員 (m)	平均幅員(m)	面積(m <sup>2</sup> )	
BP	—					—	—	
No1								
No1+10.0		0.5			0.5			
No2	10.000	0.5	0.50	5.0	0.5	0.50	5.0	
No3	20.000	0.5	0.50	10.0	0.5	0.50	10.0	
EP	18.000	0.5	0.50	9.0	0.5	0.50	9.0	
小 計	48.000			24.0			24.0	
合 計	48.000			24.0			24.0	



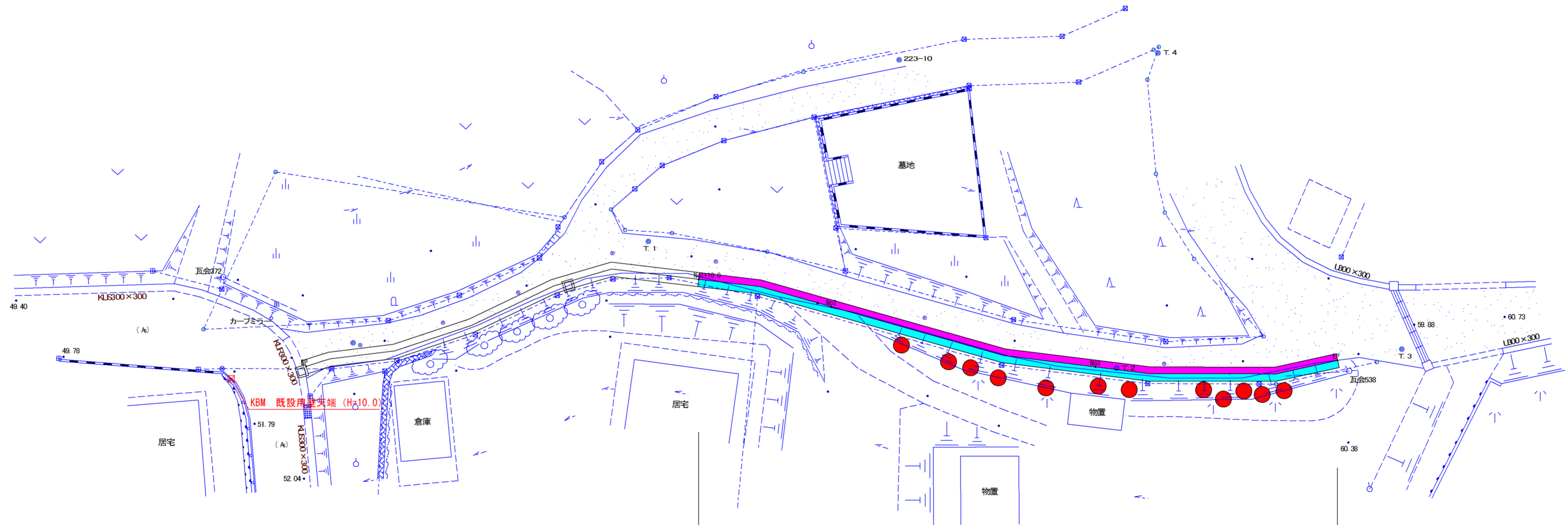
## 支障木伐採 集計

番号	樹種名	幹周 株周り (cm)	1本あたり 廃材質量 (t)	1本あたり 廃材容量 (m3)	2t車1台あたり 積載本数	2t車 運転時間 運搬距離 15km (1.9h) (必要台数×運転時間)
1	ひのき	120	3.25	2.96	0.2	9.50
2	ひのき	115	2.62	2.38	0.2	9.50
3	ひのき	115	2.62	2.38	0.2	9.50
4	ひのき	108	2.07	1.88	0.3	6.33
5	ひのき	127	3.25	2.95	0.2	9.50
6	ひのき	126	3.25	2.95	0.2	9.50
7	ひのき	102	2.07	1.88	0.3	6.33
8	ひのき	124	3.25	2.95	0.2	9.50
9	ひのき	117	2.07	1.88	0.2	9.50
10	ひのき	97	1.52	1.39	0.3	6.33
11	ひのき	116	2.07	2.38	0.2	9.50
12	ひのき	126	3.25	2.96	0.2	9.50
		合計	31.29	28.94		104.49

幹周 90～99cm	1.0	本
幹周 100～109cm	2.0	本
幹周 110～119cm	4.0	本
幹周 120～129cm	5.0	本
合計	12.0	本

石岡市

瓦谷

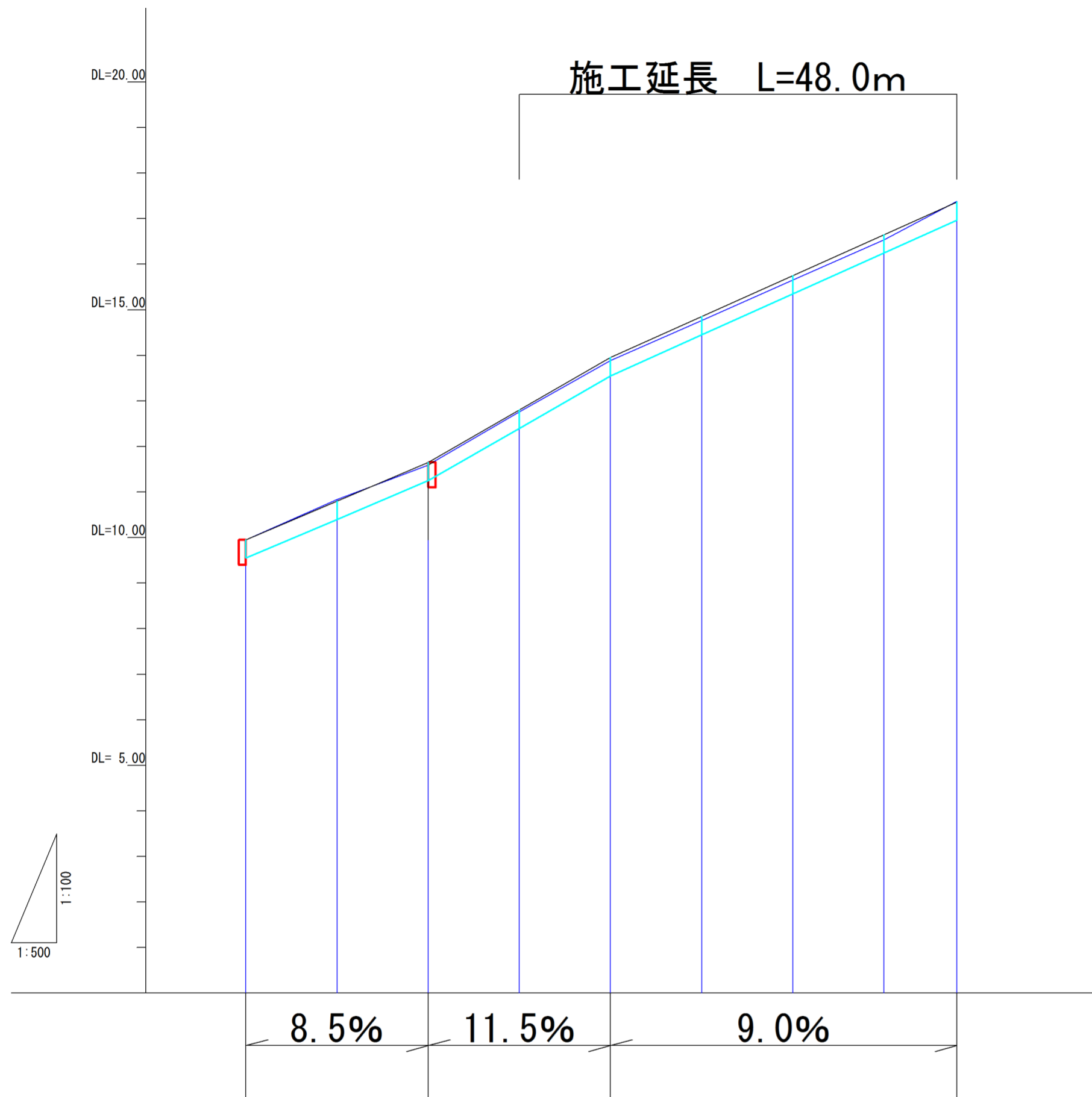


施工延長 L=48.0m (KUS300×300)

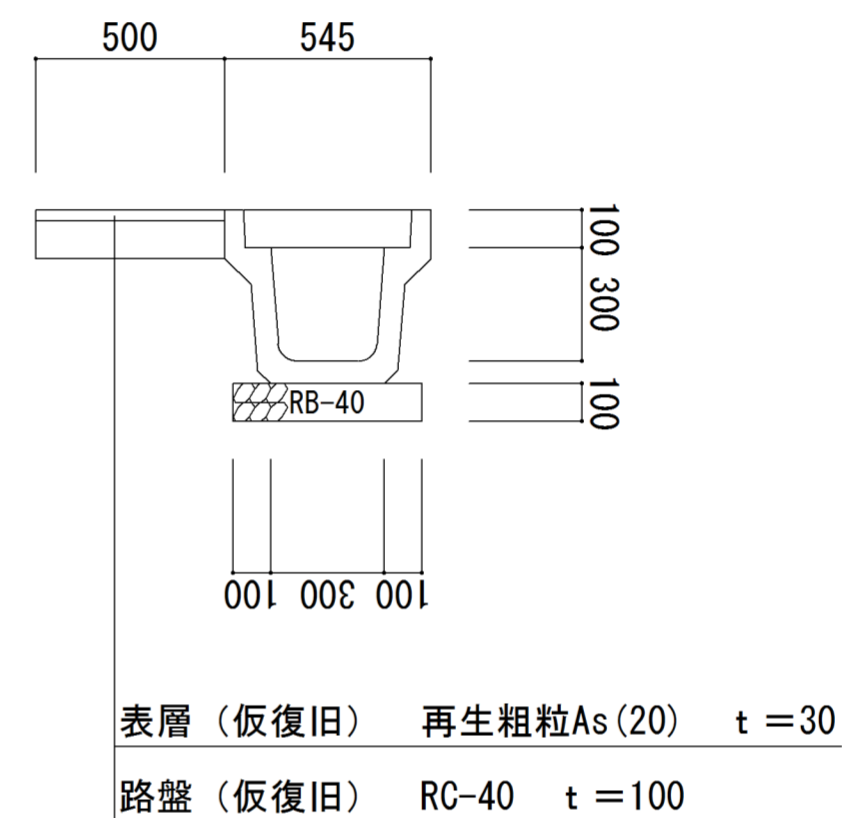
支障木伐採 N=12本

工事名	R2単・市道B5212号線 排水整備工事
工事場所	石岡市瓦谷地内
図面番号	1 / 3
図面種別	平面図
縮尺	S = 1 / 250

縦断面図 V=1:500  
H=1:100

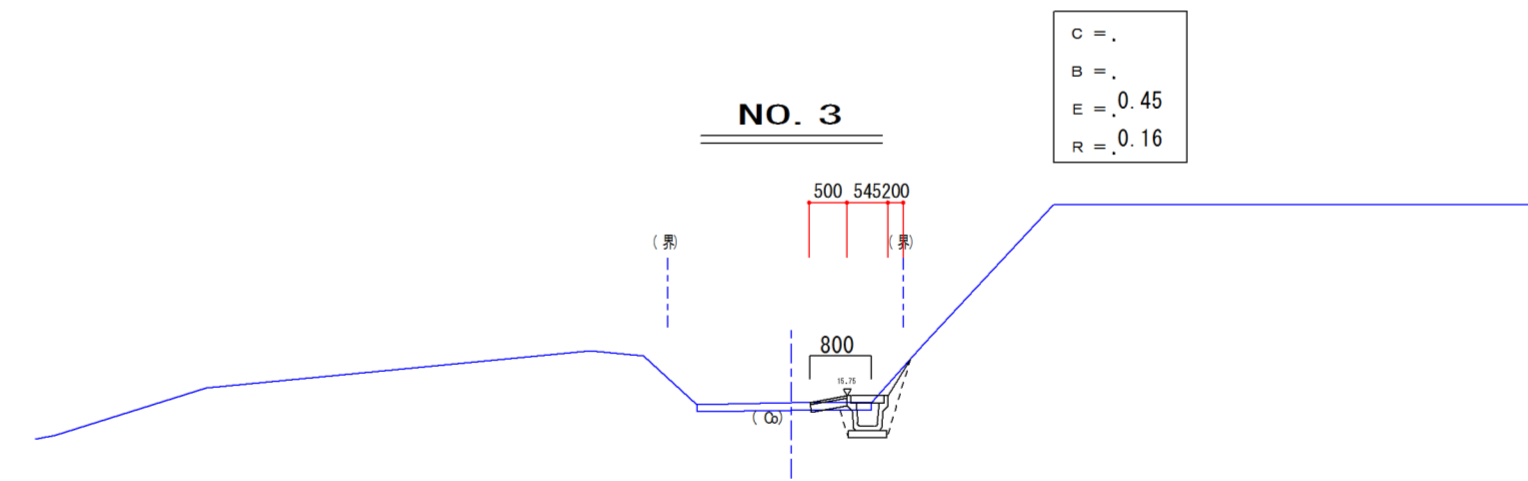
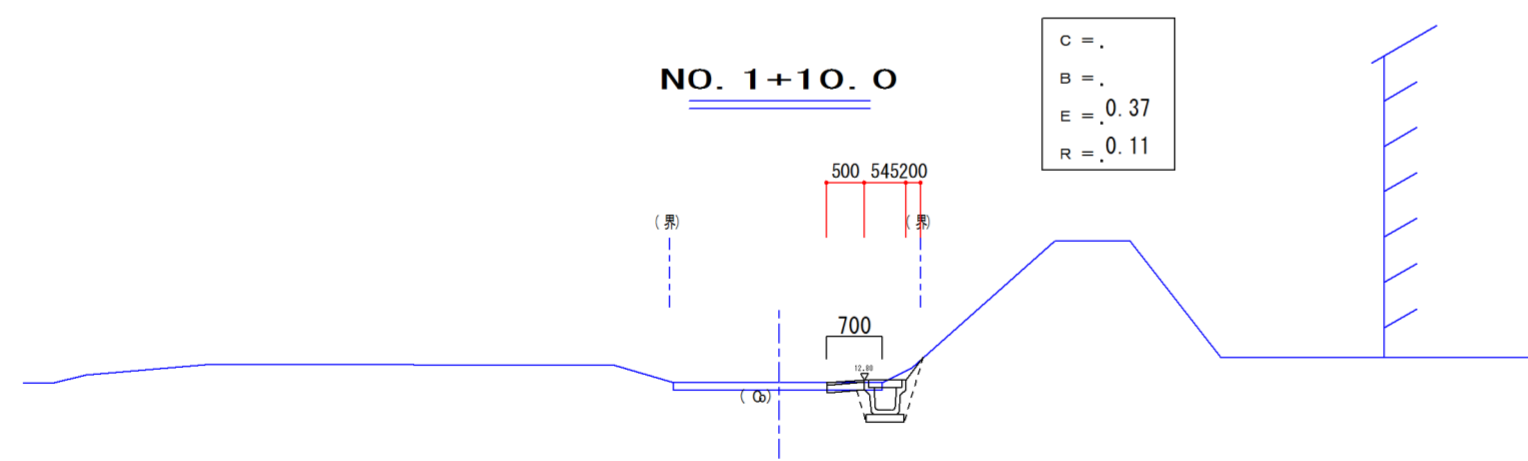
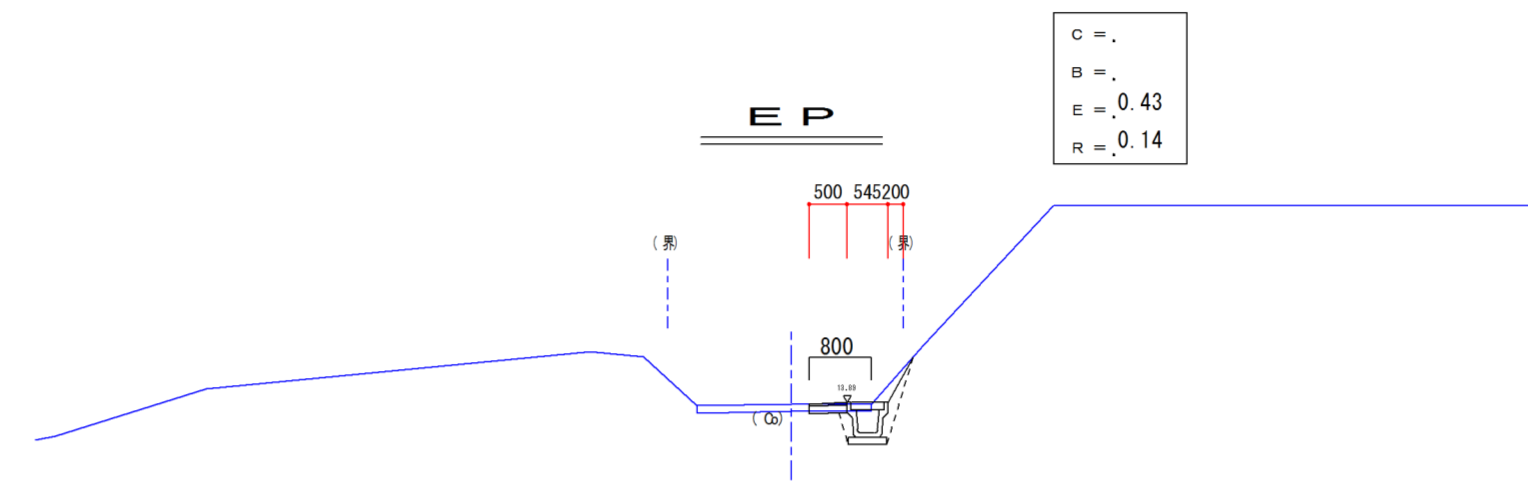
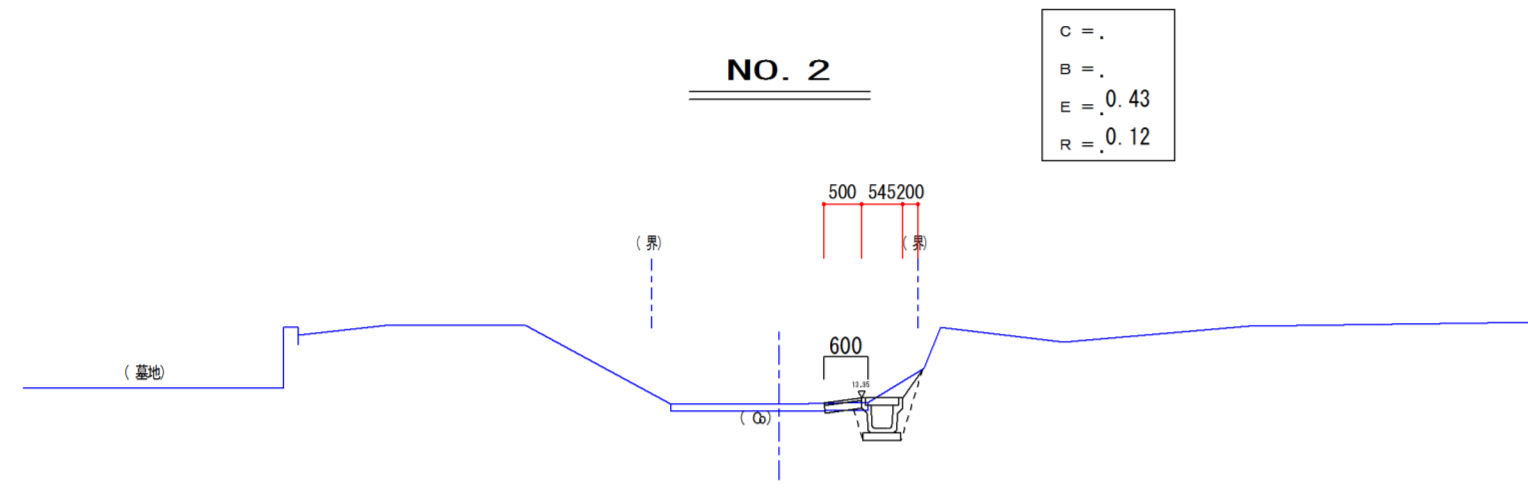



標準断面図 S=1:20



測点	B.P	+10.0	No.1	+10.0	No.2	+10.0	No.3	+10.0	EP
区間距離	0.0	10.0	20.0	10.0	20.0	10.0	20.0	10.0	8.0
追加距離	0.0	10.0	20.0	30.0	40.0	50.0	60.0	70.0	78.0
現況地盤高	9.952	10.843	11.597	12.763	13.892	14.765	15.657	16.541	17.389
計地盤高	9.95	10.80	11.65	12.80	13.95	14.85	15.75	16.65	17.37
計底部高	9.55	10.40	11.25	12.40	13.55	14.45	15.35	16.25	16.97

工事名	R2単・市道B5212号線 排水整備工事
工事場所	石岡市瓦谷地内
図面番号	2 / 3
図面種別	縦断面図
縮尺	図示のとおり



工事名	R2単・市道B5212号線 排水整備工事
工事場所	石岡市瓦谷地内
図面番号	3 / 3
図面種別	横断図
縮尺	S = 1 / 100
 <b>石岡市</b>	